

# 令和2年度 授業改善推進プラン 6年

校内研究部

|      | 児童の実態・課題分析   | 具体的な改善策   | 改善プランの評価 |  |
|------|--|---|----------|--|
| 国語   | ・教科書を読み、文章全体における段落の役割を理解することができる。しかし、自分が文章を書くときには、段落相互の関係などに注意して文章を構成することが課題である。 | ・文章の組み立てとその内容を書く方法を理解させる。<br>・理解させた方法を使い、自分で文章を書く経験を重ねる。                            |          |  |
| 社会   | ・資料から情報を読み取ることができている。読み取った情報から、考察を広げることが課題である。                                   | ・資料を見るとき viewpoints を指導し、経験を重ねていく。<br>・読み取りと関連させて考えることでより深く考察することができるようにする。         |          |  |
| 算数   | ・数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表わすことができるが、それを相手に伝えるように説明することが課題である。                   | ・自分の考えを既習を使って表現し、考えを伝え合う時間を確保する。<br>・児童の考えについて、他の児童が説明する活動を行う。                      |          |  |
| 理科   | ・問題に対する仮説を立てたり、実験方法を考えたりすることができる。しかし、実験の結果を仮説と関連付けたり、異なる結果から多面的に考察したりすることが課題である。 | ・実験の結果を全体で整理し、共有してから考察できるようにする。<br>・仮説を考える際、実験の結果の見通しをもたせることで、仮説と結果を関連づけられるようにする。   |          |  |
| 生活   |  |   |          |  |
| 音楽   | ・基礎的・基本的な音楽表現の技能を身に付けている児童が多い。一方で、低・中学年での既習事項を定着させられていない児童もいる。                   | ・体を動かす活動などを取り入れ、拍の流れにのって演奏する感覚を養っていく。また、実態に応じて教材の難度を調整し、課題を確実に達成させる。                |          |  |
| 図画工作 | ・表現する喜びを感じ、積極的に活動しようとする児童が多い。一方でなかなか発想ができない児童もいる。                                | ・活動のめあてや活動の過程を明確に示し、技能を少しずつ身に付けられるようにする。見本や資料を用意し、自分のイメージに合った絵を描けるようにする。            |          |  |
| 家庭   | ・裁縫の技能についての基礎・基本を身につける必要がある。   | ・見通しをもたせるため、視覚的に具体物を提示したり、制作の計画を立てたりして指導する。<br>・振り返りを行うことで自身の成果と課題を意識させる。           |          |  |
| 体育   | ・規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりすることはできているが、自分の課題を設定することが不十分である。                    | ・互いに見合い、アドバイスし合う時間を設定することで、自分の課題を知る時間を設定する。<br>・振り返りカードを活用し、めあてと課題を自身で考えられるように指導する。 |          |  |
| 外国語  | ・授業の中で英語の単語を聞いて理解することはできるが、文章になると難しいと感じる児童が多い。                                   | ・英語の歌や絵本の読み聞かせの時間を十分に確保する。<br>・ALTや指導者が積極的に英語を話す時間を増やす。                             |          |  |